



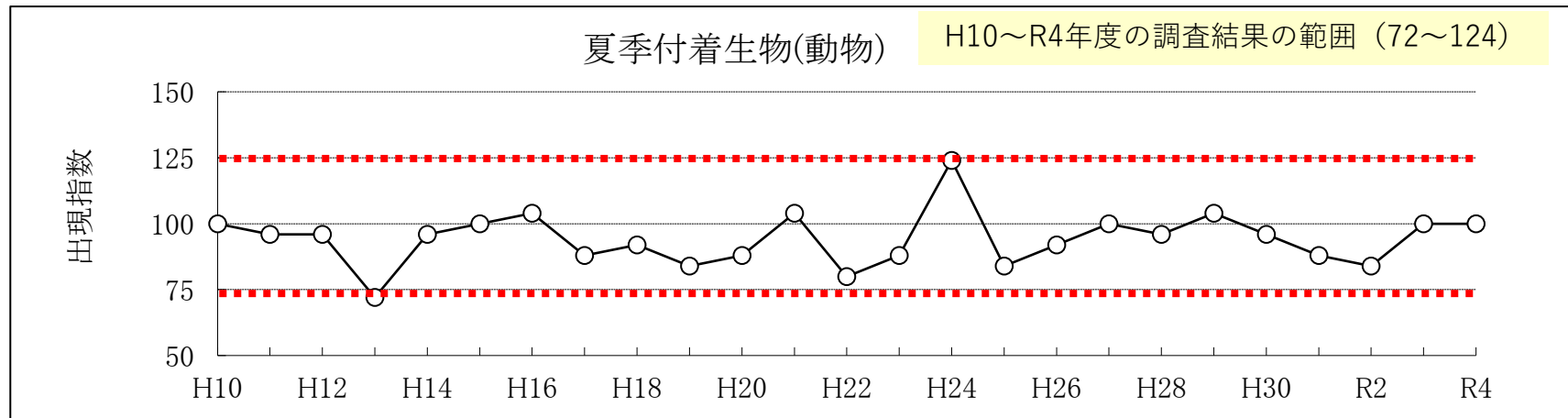


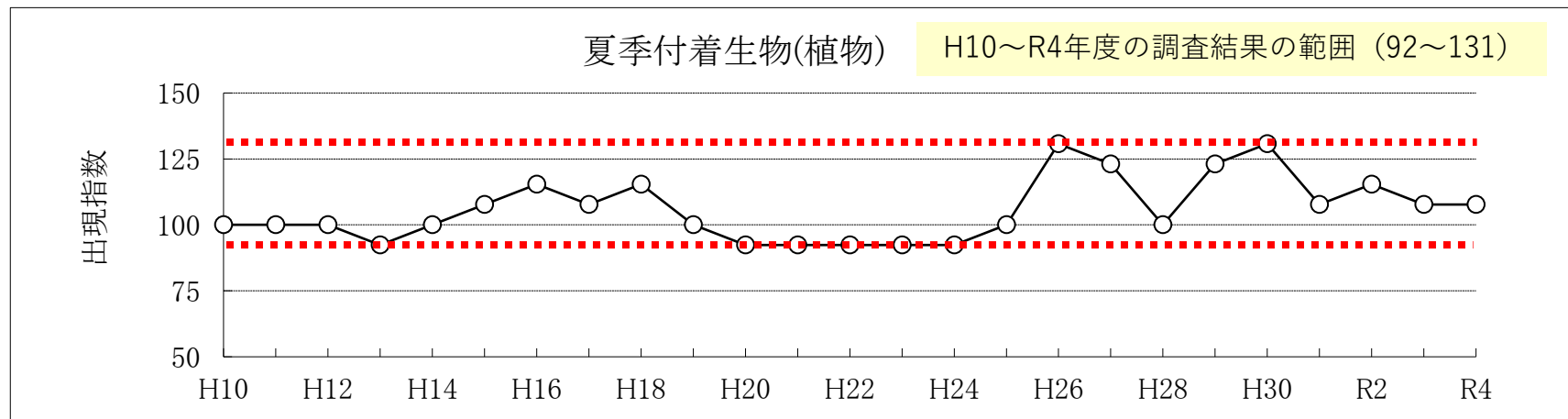
< 結果 > 潮間帯付近の動植物（夏季）

	全10ラインの 出現種類数	出現生物の一例	
動物	25種	 【アラレタマキビ】	 【クロフジツボ】
植物	14種	 【ヒジキ】	 【サンゴモ亜科】

<結果> 付着生物出現指数の推移(夏季)







※H10年度の総種類数(25種)を100とした場合の比率



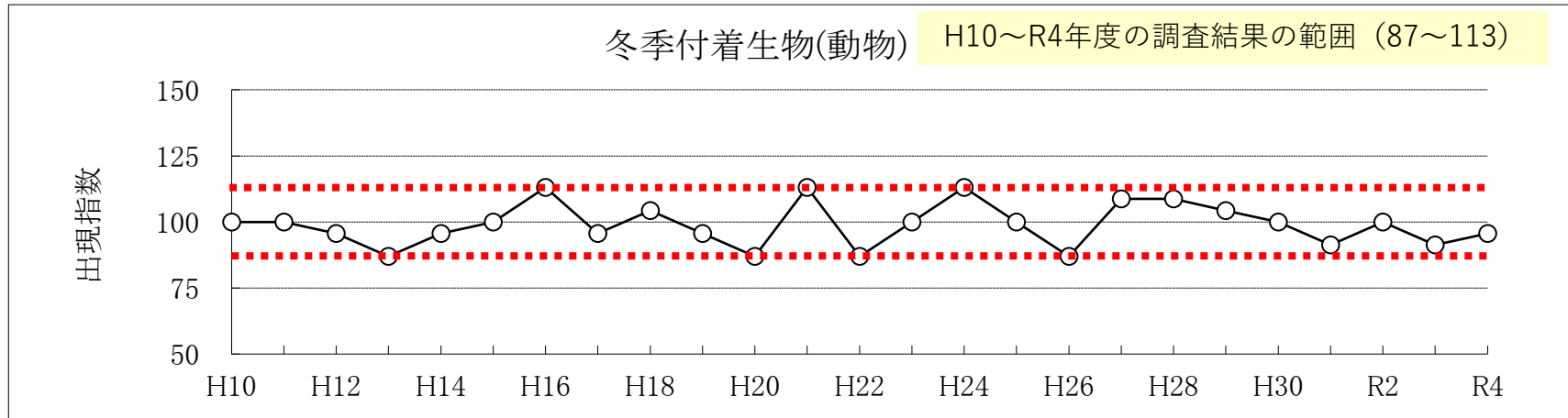
※H10年度の総種類数(13種)を100とした場合の比率

付着生物の出現指数は、動物は100、植物は108であり、過去の調査結果の範囲内であった。

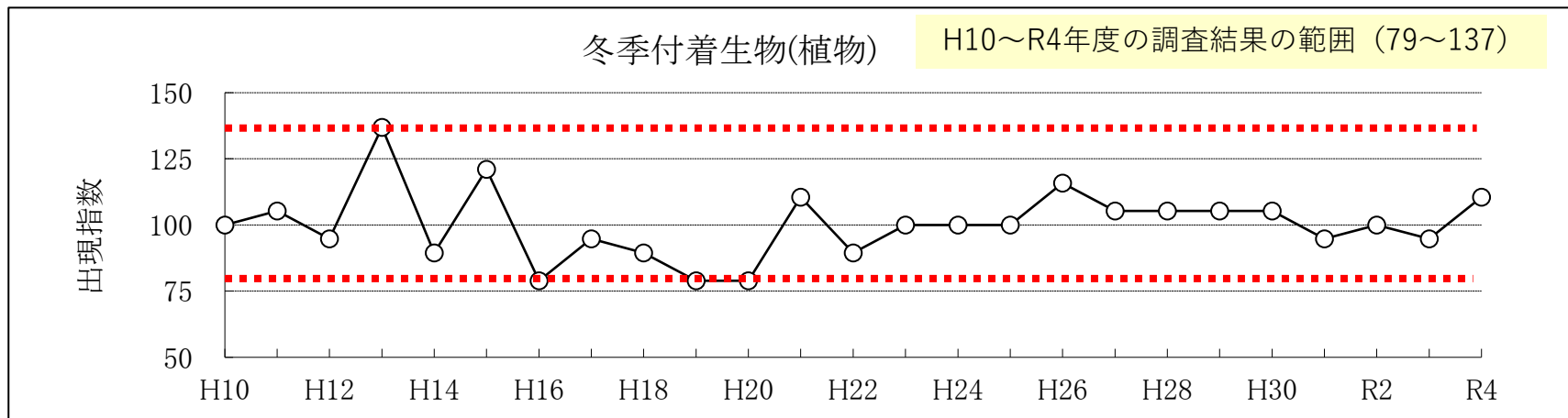
< 結果 > 潮間帯付近の動植物（冬季）

	全10ラインの 出現種類数	出現生物の一例	
動物	22種	 <p>【アラレタマキビ】</p>	 <p>【イワフジツボ】</p>
植物	21種	 <p>【ヒジキ】</p>	 <p>【サビ亜科】</p>

<結果> 付着生物出現指数の推移(冬季)



※H10年度の総種類数(25種)を100とした場合の比率



※H10年度の総種類数(13種)を100とした場合の比率

付着生物の出現指数は、動物は96、植物は111であり、過去の調査結果の範囲内であった。